

第1グループまとめ①

■防災について

提言	防災についての専門課を設置し、市と市民の連携を強化する
↓	
提言を受けた市の考え 8 / 11	<u>シートNo.1のとおり</u> ・ 防災ソフト、ハード事業の実施 ・ 防災専門課の検討、消防団再編成 ・ 住宅の耐震化の推進
↓	
市民検討会議からの意見等 8 / 11	・ 目標指標が分かりにくい（年何回、累計等） ・ 専門課を「設置」と書かないのは何故か ・ 住宅耐震関係の目標値が低い
↓	
修正後の市の考え 9 / 17	<u>シートNo.2のとおり</u> ・ 目標指標の単位を明確化 ・ 専門課の設置について、専任職員の雇用や職員連携による防災対応向上を図り、さらに専門課の新設を検討 ・ 住宅耐震関係の目標値の見直し（対象件数の把握）
↓	
市民検討会議からの意見等 9 / 17	・ 専門課を設置してほしいが、まず他市の組織の状況を確認し、2年程度を目途に瑞穂市に相応しい組織のあり方について検討し、結論を出してほしい。また、プロジェクトチームを設置してほしい。 ・ 耐震化の目標指標が依然として低い。→まず問題としては耐震診断等の補助制度があることを周知することが大切。→広報活動に注力すべき
↓	
再修正後の市の考え (今回)	<u>シートNo.3のとおり</u> ・ 期限を限った専門課の設置、プロジェクトチームの設置について記載 ・ 耐震診断の補助制度の広報について積極的に取り組むことを明記

第 1 グループまとめ②

■駅の活性化について

提言	整備の必要性や方向性等を総合的に考える官民協働の検討委員会の設置
↓	
提言を受けた 市の考え 8 / 11	シートNo.4、5のとおり ・官民協議会を立ち上げ、計画の策定等を実施する。
↓	
市民検討会議 からの意見等 8 / 11	・いつまでに何をやるのかスケジュールを明確化してほしい。 ・市として駅をどうしたいか考えてほしい。
↓	
修正後の市の 考え 9 / 17	シートNo.6のとおり ・官民協議会の立ち上げまでのスケジュールを明記。 ・まず、市の考え方をある程度固め、その後官民協議会を立ち上げる。
↓	
市民検討会議 からの意見等 9 / 17	・市で2年間、官民協議会で1年間の計3年間で検討するという内容となっているが、期間が長すぎる。短縮すべき。 ・市が考えを固めた後に官民協議会を立ち上げるのではなく、1年目から
↓	
再修正後の市 の考え	シートNo.7のとおり ・28、29年で検討を実施する。 ・官民協議会を1年目から立ち上げる。

第2グループまとめ①

■ごみについて

提言	「マナー」「意識改革の向上」が必要
↓	
提言を受けた市の考え 8 / 11	<u>シートNo.21、22のとおり</u> ・環境美化意識の啓発、ボランティアとの協働、地域活動の支援など
↓	
市民検討会議からの意見等 8 / 11	・ボランティアの育成が必要 ・不法投棄防止のため、ひと目の付かない場所を減らす工夫を ※特にシートの修正等はありませんでした。

■スポーツ振興について

提言	スポーツ施設の新設
↓	
提言を受けた市の考え 8 / 11	<u>シートNo.23～25のとおり</u> ・新しい施設の建設は多額の費用が必要だが検討は行なう、まずは、既存の公園等の活用、改修から始められたらいい。 ・スポーツを始めるきっかけ作りや各種団体との連携によりスポーツ人口を増やす。
↓	
市民検討会議からの意見等 8 / 11	・公園の場所があまり知られていないので公園でイベントを実施し、PRしてはどうか。 ・ウォーキングコースやジョギングコースを設けるのであれば、途中休憩できる憩いの場所があるといい。 ・人通りや交通安全など、安心して運動できる環境のととのったウォーキングコースが望ましい。また、ウォーキングの啓発グッズを作ってはどうか。 ※特にシートの修正等はありませんでした。

第2グループまとめ②

■越境通学について

提言	小学校区の見直しが必要
↓	
提言を受けた市の考え 8 / 11	<u>シートNo.26のとおり</u> ・就学区域の変更に伴う特例に関する啓蒙・啓発をしつつ、今後も制度は継続して摘要する。変更を認める理由の主なものとしては、①いじめ、②利便性、③部活動である。
↓	
市民検討会議からの意見等 8 / 11	・この制度により子ども会活動に一部支障が出ている。 ・利便性により校区を変更するのは、転入者に多い。自治会活動と学校区が一体でないと、子どもが大人になったときに地区の活動に影響がでるのではないか。市は地域活動についてももしっかり説明すべき。また、手続きとして自治会長等の承認を得ることを条件としてはどうか。 ・小学校は避難場所になる。災害時の対応を想定しているか。 ・利便性で校区を変更する人が多いのであれば、校区ごと変えてはどうか。
↓	
修正後の市の考え (今回)	<u>シートNo.27のとおり</u> ・ホームページ等で制度の周知、特例の明確を目指す。 ・校区の変更承認手続きについて、自治会等との連携方法について検討を行う。

■歴史・文化について

提言	瑞穂市の歴史の本の展示や製作、触れる機会を増やす
↓	
提言を受けた市の考え 8 / 11	<u>シートNo.28のとおり</u> ・中山道と美江寺宿を生かした地域観光振興 ・歴史資源の発掘、保護、PR、まつりの実施による地域の活性化
↓	
市民検討会議からの意見等 8 / 11	・中山道沿いに拠点となるものを作ってほしい。 ・中山道沿線自治体と連携した活動はできないか。 ・中山道のPRを分かりやすく実施してほしい。 ・まだ光の当てられていない寺などの資源があるのではないか。 ※特にシートの修正等はありませんでした。

第3グループまとめ

■子育て・保育について

提言	・ 待機児童への対応について ・ N P O の支援について ・ 貧困・虐待への対応について
----	--



提言を受けた 市の考え 8 / 1 1	<u>シートNo.3 1～3 6のとおり</u> ・ 3 歳未満児保育、延長保育等の保育体制の充実 ・ 潜在保育士の発掘、育児休業保育士の職場復帰支援 ・ ほづみ幼稚園の定員の見直し ・ 民間・N P O と連携した保育サービスの充実 ・ 生活困窮者の支援 ・ 行政需要（子育て関係）に対応した組織の見直し
---------------------------	---



市民検討会議 からの意見等 8 / 1 1	・ 生活困窮者に関する情報連携、チェック体制の強化をお願いしたい。 ・ 保育士のパートの採用条件は改善の余地があるのではないかと。 ・ 病児・病後児保育が進んでいないのではないかと。 ※特にシートの修正等はありませんでした。
-----------------------------	---

■まちづくり・市民参画について

提言	・ まちづくり専属部署又は総合戦略室を設置 ・ 市民の声を反映させる組織作り ・ 市の市民に対するアプローチ ・ 既存組織（自治会等）とのかかわり方
----	---



提言を受けた 市の考え 8 / 1 1	<u>シートNo.3 7、3 8のとおり</u> ・ ホームページの充実による情報発信 ・ 校区自治会連合会による市民が主体となったまちづくりの推進 ・ 行政需要（市民協働関係）に対応した組織の見直し
---------------------------	---



市民検討会議 からの意見等 8 / 1 1	・ 自治会役員の高齢化が進んでおり、校区自治会連合会の立ち上げに期待している。 ・ 地域の活動拠点の整備が必要。親切ではなく既存の施設の活用も検討する。 ・ 市からの情報発信を校区自治会連合会を通じて行っているかどうか。 ・ 校区自治会連合会の運営等について、目標指標が設定できるものは設定してほしい。
-----------------------------	--



提言を受けて 市の考えを示 していない部 分について	・ まちづくり専門部署や、市民の声を反映させる組織作りについては、市が瑞穂市まちづくり基本条例推進委員会に対し、案の諮問を行っている。答申が出た時点でシートを作成する。シート作成後、3 G の部会長と相談した上で検討委員のみなさんにお知らせします。
-------------------------------------	--